

海外文化交流特別展

日中平和友好条約45周年
世界遺産 大シルクロード展



はじめに

東洋と西洋を結ぶシルクロードは、古代から重要な交流、通商ルートであり、
多様な民族が興亡した文化融合の地でした。

本展覧会では、中国の洛陽、西安、蘭州、敦煌、新疆地域など各地の主要な博物館、
研究機関の所蔵する文物の中から、シルクロードの名宝を紹介します。
遣唐使など日本との縁が深い唐時代を中心とした名品を展観するとともに、
あわせて世界遺産に登録された遺跡の遺品も展示します。



[開催概要]

海外文化交流特別展

日中平和友好条約45周年
『世界遺産 大シルクロード展』

会期 2023年9月16日(土)～12月10日(日) 74日間

会期 東京富士美術館 本館展示室 〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1

- 主催 東京富士美術館 中国文物交流中心 朝日新聞社
- 後援 外務省 中国人民对外友好協会
中国大使館 八王子市 八王子市教育委員会
- 企画協力 黄山美術社
- 協賛 光村印刷(東京会場)
- 入場料 大人：1500円(1200円) 大学・高校生：900円(800円)
中学・小学生：500円(400円) ※未就学児無料、()内は前売及び団体料金、各種割引



[開催趣旨]

シルクロードはユーラシア大陸を横断し東洋と西洋を結んだ大交易路と一般に知られています。自動車も汽車もない時代に、草原や砂漠、雪山を越え、時には命をかけて人や物がここを往来しました。地球の四分の一周にもおよぶ壮大な「旅路」は、人類の歴史においても重要な役割を果たしてきたと考えられています。

シルクロードの研究は19世紀後半より始まり、約140年の歴史がありますが、日本では特に半世紀程前のテレビ番組の印象が深く、砂漠の彼方や最果ての地に多くの人が憧れを抱くようになりました。学術的にも、奈良の正倉院に伝わる宝物の故地として、ペルシアや中央アジア、ひいてはギリシア・ローマに起源する文化が注目され、交流の歴史が研究されてきました。そして近年では、シルクロードが2014年にユネスコの世界遺産に認定されました（「シルクロード：長安-天山回廊の交易路網」）。中国ではこれを契機としてシルクロードへの関心が高まり、学術調査や研究はこれまでにない勢いで進められ、新しい発見が続いています。

本展覧会は、この世界遺産認定後、中国国外で初めて行われる大規模なシルクロードの展覧会です。世界遺産に登録された中国国内の遺跡を紹介し、また日本初公開の文物を含むシルクロード文化の精華を公開します。特に今回は、中国側のご厚意により、これまでにない規模でシルクロードの優品が日本にもたらされます。シルクロードを通じて、日本と中国が長い文化交流の歴史をもつことを、この展覧会であらためて感じていただけましたら幸いです。



世界遺産「シルクロード：長安－天山回廊の交易路網」



2014年に登録された世界文化遺産。東西を結んだ交易路シルクロードについて、中国、カザフスタン、キルギスの3か国が共同で申請し、中国では5つの省・自治区にある22の遺跡が登録されました。*

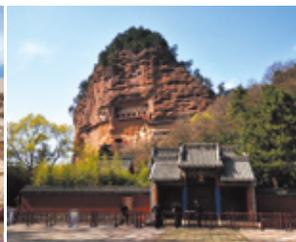
シルクロードに関わる世界遺産としては、ほかに敦煌の莫高窟（1987年文化遺産登録）、洛陽の龍門石窟（2000年文化遺産登録）、大同の雲岡石窟（2001年文化遺産登録）、また新疆の天山（2013年自然遺産登録）などがあります。

※「シルクロード：長安－天山回廊の交易路網」の構成資産

西安の前漢長安城未央宮遺跡、唐長安城大明宮、大雁塔、小雁塔、興教寺塔、洛陽の後漢北魏洛陽城、隋唐洛陽城定鼎門、新安県漢代函谷関、石壕地区崑函古道、天水の麦積山石窟群、彬県大仏寺石窟、張騫墓、河西回廊地区の炳靈寺石窟寺院、鎖陽城、懸泉駅、玉門関、天山南路天山北路地区の北庭故城、高昌故城、交河故城、キジル石窟寺院、スバシ仏教寺院址、キジルガハ烽火台



敦煌・莫高窟



天水・麦積山石窟群



西安・大雁塔



洛陽・龍門石窟

展覧会の見どころ

世界遺産認定後、
中国国外で初めて行われる大規模なシルクロードの展覧会



中国国内27カ所の主要博物館、研究所から
シルクロードの文物、関連資料など200点出品



金銀宝飾品、青銅器、ガラス、陶磁器、壁画、
絵画、染織、経典、仏像など
一級文物45点を展観



出品先

27か所(9省2自治区)



【新疆ウイグル自治区】

- 1 新疆ウイグル自治区博物館
- 2 新疆ウイグル自治区文物考古研究所
- 3 イリ州博物館
- 4 トルファン博物館
- 5 バインゴリン・モンゴル自治州博物館

【河南省】

- 19 洛陽博物館
- 20 洛陽龍門石窟研究院
- 21 開封市博物館

【寧夏回族自治区】

- 22 寧夏固原博物館

【甘肅省】

- 6 甘肅省博物館
- 7 敦煌研究院
- 8 敦煌市博物館
- 9 甘肅簡牘博物館
- 10 麦積山石窟芸術研究所
- 11 山丹県博物館

【山西省】

- 23 山西博物院

【河北省】

- 24 河北博物院

【浙江省】

- 25 中国絲綢博物館

【陝西省】

- 12 西安博物院
- 13 陝西歴史博物館
- 14 昭陵博物館
- 15 西安碑林博物館

【江西省】

- 26 江西省博物館

【遼寧省】

- 27 遼寧省博物館

【青海省】

- 16 青海省博物館
- 17 青海省文物考古研究所
- 18 青海蔵医薬文化博物館

展覧会の構成

第1章

民族往来の舞台

～胡人の活動とオアシスの遺宝～



第2章

東西文明の融合

～響き合う漢と胡の輝き～



第3章

仏教東漸の遙かな旅

～眠りから覚めた経典と祈りの造形～



第1章

民族往来の舞台 ～胡人の活動とオアシスの遺宝～

中国では北方や西方の騎馬遊牧民を古来「胡」(胡人)と呼んできました。これらはイラン系、トルコ系、モンゴル系など様々ですが、なかでもイラン系のソグド商人は隊商(キャラバン)を組んでオアシス都市を往来し、中国～ローマをつなぐ東西交易だけでなく、文化や宗教の交流にも大きな役割を果たしました。また、北の突厥、南の吐蕃も勢力を増し、独特の文化を残しています。この章では、新疆ウイグル自治区、甘肅省、寧夏回族自治区、青海省、遼寧省などの博物館が所蔵する、西方や北方の香り高い遺宝の数々を紹介します。



1

一級文物

めのうぞうがんはい
瑪瑙象嵌杯

5-7世紀／1997年イリ州昭蘇県ボマ古墓出土／
 高16.0cm／イリ州博物館

新疆ウイグル自治区ボマ県の墓から出土した金製の杯で、虎を象った把手や赤い瑪瑙の象嵌が豪華な印象を与えます。草原地帯の遊牧民の文化との関連が指摘されています。

第1章 民族往来の舞台 ～胡人の活動とオアシスの遺宝～



2

一級文物

マニ教ソグド語の手紙

11世紀初め／1981年トルファン・ベゼクリク石窟第65窟出土／
26.0×268.0cm／トルファン博物館

マニ教の僧侶に宛てた縦書きのソグド語の手紙です。マニ教の白い帽子や楽人の姿も描かれています。ソグド語はシルクロードの国際共通語として重要な役割を果たしました。

第1章 民族往来の舞台 ～胡人の活動とオアシスの遺宝～ シルクロードのコイン



3

ササン式銀貨

7世紀／鳥恰県出土／
径3.1～3.2cm／新疆ウイグル自治区博物館

シルクロードの各地でペルシアやローマ、クシャーンなど西方の金銀貨が発見され、流通の実態を知るうえで重要です。それらは西方の王や神の姿が表され、倣製品も作られました。

第1章 民族往来の舞台 ～胡人の活動とオアシスの遺宝～

砂漠の正倉院—アスターナ古墓群



4

一級文物

し し かりもん けん ぶ
獅子狩文絹布

唐・7世紀末-8世紀初め／1973年トルファン・アスターナ古墓191号墓出土／
42.0×29.0cm／新疆ウイグル自治区博物館

トルファンのアスターナ古墓群から大量の絹織物や貴重な資料が発見されました。「獅子狩文」はペルシアで流行した文様で、シルクロードを通過して日本にも伝わりました。



5

一級文物

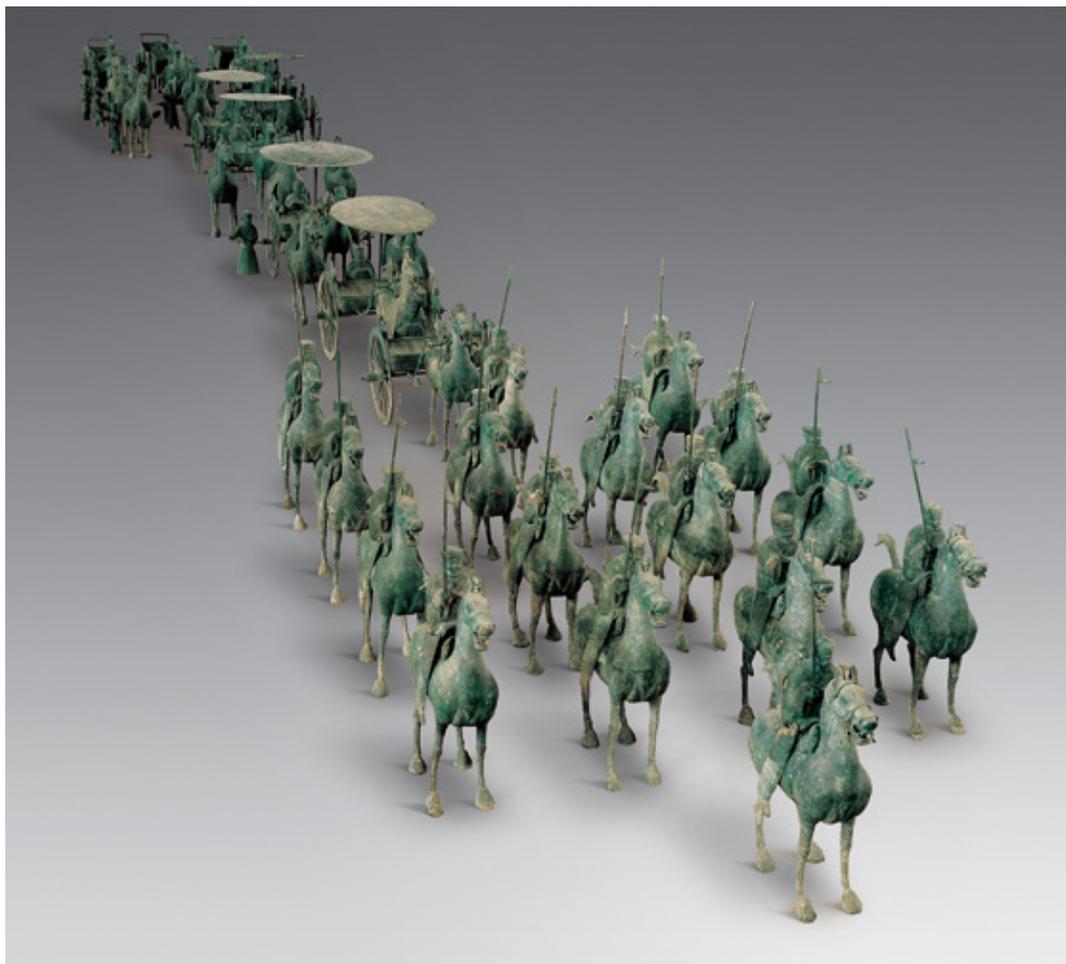
から はな もんに しきくつ
唐花文錦鞋

唐・8世紀／1968年トルファン・アスターナ古墓381号墓出土／
長29.7、幅8.8、高6.0cm／新疆ウイグル自治区博物館

色鮮やかな唐花文の錦で作った鞋です。つま先が高いのは長いスカートの裾を引掛けるためで、中国の影響です。よく似た鞋が奈良の正倉院宝物にも見られます。

第2章 東西文明の融合 ～響き合う漢と胡の輝き～

漢の武帝の時に東西の交通路が開かれ、以後、大都市の長安や洛陽を中心に西方の文化が採り入れられていきました。多民族国家といわれる唐時代になると中国に居住する胡人も増え、国際色豊かな社会状況を反映して、異国風の装いや美術、音楽が流行しました。この章では、唐時代の名品を中心に、甘肅省、陝西省、河南省、山西省、河北省、浙江省、江西省の博物館の所蔵品を紹介します。



6

しゃばぎじょうたい 車馬儀仗隊

後漢・1-3世紀／1969年武威市雷台墓出土／
高30.0、長55.0cm／甘肅省博物館

甘肅省武威の漢代の墓から出土した銅製の車馬隊です。墓の主人や夫人の車を騎馬隊が囲み、馬は口を開いて激しくいなないています。外敵から国をまもる強力な騎馬軍団を髣髴させます。

※イメージ写真(9体のみ出品)

第2章 東西文明の融合 ～響き合う漢と胡の輝き～



7

一級文物

ほうしゅはい

鳳首杯

唐・8世紀／1982年西安市韓森寨出土／
高6.9、長13.6、口径5.6cm／陝西歴史博物館

西方世界で愛用されたリュトン（角製の杯）を真似た陶器です。把手部分を鳳凰の頭の形につくり、器の全面に浮き出す華やかな植物文を、鮮やかな三彩釉がさらに引き立てています。



8

一級文物

じょしやう

女子俑

唐・8世紀／1959年西安市中堡村唐墓出土／
高45.2cm／陝西歴史博物館

ふくよかな顔と優雅な立ち姿は典型的な唐美人を表現しています。藍色の襦（肌着）や長いスカート、斜めに掛けるショールなどには鮮やかな釉（三彩）をかけ、顔や頭は彩色を施しています。

第2章 東西文明の融合 ～響き合う漢と胡の輝き～



9

一級文物

けんばず
献馬図

唐・乾封元年(666)／1991年陝西省礼泉県韋貴妃墓出土／
縦146.0、横155.0cm／昭陵博物館

唐の第二代皇帝太宗の妃の墓に描かれていた壁画です。「深目高鼻」で筒袖の胡服をまとう外国人が西方馬の首を押さえながら献上する場面を、力強い筆遣いで描いています。



10

一級文物

ろっ かけいあしつきはい
六花形脚付杯

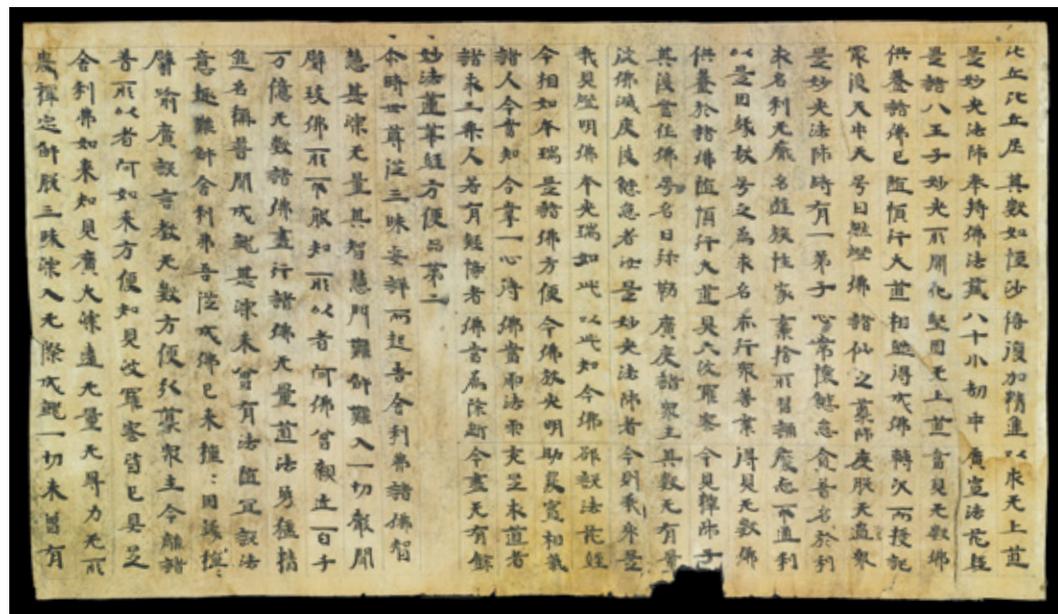
唐・8世紀／
高5.4、口径7.9cm／山西博物院

六花形の脚付きの杯。側面には乗馬や狩りを楽しむ人々、獣や鳥、花などをあらわし、余白を細かな魚々子(円文)で埋めています。燦然と輝く金器は唐時代の華やかさを伝えています。

第3章

仏教東漸の遙かな旅 ～眠りから覚めた經典と祈りの造形～

西暦1世紀ころシルクロードを通して中国に伝えられた仏教は、經典の漢訳によって広く理解されるようになりました。また、仏像や仏教絵画の制作も盛んになり、地域や民族の趣向に適應して新たな発展を遂げました。この章では、トルファンと敦煌で発見された經典や、新疆、敦煌、さらに中原の各地で収蔵されている仏教美術の優品を紹介します。



11

一級文物

みょうほうれんげきょうまきだいいち だんかん
妙法蓮華經卷第一 断簡

北朝・5-6世紀／1900年敦煌莫高窟出土／
 縦25.0、横44.0cm／敦煌研究院

砂漠の大画廊と称される^{とんこうぼうこうくつ}敦煌莫高窟から1900年に偶然発見された敦煌文書の一つで、北朝期の貴重な写經の遺品です。『妙法蓮華經』(法華經)は東アジアで広く信仰されました。

第3章 仏教東漸の遙かな旅 ～眠りから覚めた経典と祈りの造形～



12

かん ぜ おん ぼ さつ ふ もん ぼん だん かん
観世音菩薩普門品 断简

魏氏高昌国・建昌5年(559年)／1980年トルファン・ベゼクリク石窟出土／
 縦20.0、横88.7cm／トルファン博物館

トルファンのベゼクリク石窟で発見された「観音経」の断簡で、559年に書写されています。トルファンは5～7世紀に仏教を奉じた高昌国が栄え、玄奘三蔵も立ち寄っています。



13

にょらい ぞう へきが
如来像 壁画

7-8世紀／2002年ダندانウイリクCD4仏寺遺跡出土／
 縦51.0、横36.0cm／新疆ウイグル自治区博物館

ダندانウイリクの7～8世紀の仏教遺跡から2002年に発見された如来像壁画で、丸い顔と鋭い視線が印象的です。輪郭線の赤色や、眉と頭髮に施された青色が鮮やかです。

第3章 仏教東漸の遙かな旅 ～眠りから覚めた経典と祈りの造形～



14

一級文物

ほ さつ ざ ぞう
菩薩坐像

唐・7-8世紀／2000年洛陽市奉先寺遺跡出土／
高86.5cm／龍門石窟研究院

河南省の世界遺産龍門石窟に近い奉先寺遺跡から出土した唐時代の菩薩像です。胴を極端に絞る美しいプロポーションで、右脚を下す自然な体勢や豪華な装飾品はインドのグプタ美術の影響です。

巡回展

九州会場

福岡アジア美術館

2024年1月2日(火)～3月24日(日) 72日間

主催 福岡アジア美術館、中国文物交流中心、読売新聞社、FBS福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス

東北会場

東北歴史博物館

2024年4月9日(火)～6月9日(日) 54日間

主催 東北歴史博物館、中国文物交流中心、河北新報社、khh東日本放送

四国会場

愛媛県美術館

2024年6月22日(土)～9月1日(日) 62日間

主催 愛媛県、中国文物交流中心、愛媛新聞社、RNB南海放送

中国会場

岡山県立美術館

2024年9月16日(月祝)～11月10日(日) 50日間

主催 岡山県立美術館、中国文物交流中心、山陽新聞社、RSK山陽放送

関西会場

京都文化博物館

2024年11月23日(土祝)～2025年2月2日(日) 56日間

主催 京都文化博物館、中国文物交流中心、毎日新聞社、京都新聞、MBSテレビ

※上記は予定であり、変更される場合もあります



1		瑪瑙象嵌杯	5-7世紀	1997年イリ州 昭蘇県 ボマ古墓出土	一級文物	高 16.0cm	イリ州博物館
2		マニ教ソグド語の手紙	11世紀 初め	1981年トルファン・ ベゼクリク石窟 第65窟出土	一級文物	26.0× 268.0cm	トルファン博物館
3		ササン式銀貨	7世紀	鳥恰県出土		径3.1～ 3.2cm	新疆ウイグル 自治区博物館
4		獅子狩文絹布	唐・ 7世紀末- 8世紀初め	1973年トルファン・ アスターナ古墓 191号墓出土	一級文物	42.0× 29.0cm	新疆ウイグル 自治区博物館
5		唐花文錦鞋	唐・8世紀	1968年トルファン・ アスターナ古墓 381号墓出土	一級文物	長29.7、 幅8.8、 高6.0cm	新疆ウイグル 自治区博物館
6		車馬儀仗隊	後漢・ 1-3世紀	1969年 武威市雷台墓出土		高30.0、 長55.0cm	甘肅省博物館
7		鳳首杯	唐・8世紀	1982年西安市 韓森寨出土	一級文物	高6.9、 長13.6、 口径5.6cm	陝西歴史博物館
8		女子俑	唐・8世紀	1959年西安市 中堡村唐墓出土	一級文物	高45.2cm	陝西歴史博物館
9		献馬図	唐・ 乾封元年 (666)	1991年陝西省 礼泉県章貴妃墓出土	一級文物	縦146.0、 横155.0cm	昭陵博物館
10		六花形脚付杯	唐・8世紀		一級文物	高5.4、 口径7.9cm	山西博物院
11		妙法蓮華経巻第一断簡	北朝・ 5-6世紀	1900年 敦煌莫高窟出土	一級文物	縦25.0、 横44.0cm	敦煌研究院
12		観世音菩薩普門品断簡	魏氏高昌国 建昌5年 (559年)	1980年トルファン・ ベゼクリク石窟出土		縦20.0、 横88.7cm	トルファン博物館
13		如来像 壁画	7-8世紀	2002年 ダンドンウイリク CD4仏寺遺跡出土		縦51.0、 横36.0cm	新疆ウイグル 自治区博物館
14		菩薩坐像	唐・ 7-8世紀	2000年洛陽市 奉先寺遺跡出土	一級文物	高86.5cm	龍門石窟研究院

FAX. 03-3664-3833
E-mail: silkroad2023@windam.co.jp

ご希望の【画像番号】をご記載ください。

貴社名

ご担当者名

媒体名

(掲載コーナー、特集名：)

〒
ご住所

連絡先

TEL：

FAX：

E-mail：

招待券

※希望される方はこちらをチェック

1. 作品画像データの使用について

本展覧会をご紹介いただける場合に限り、左記の画像データをお貸し出しいたします。
ご希望の場合は下記の窓口にメールかFAXにてお知らせください。

2. 掲載につきましての注意事項

- 図版掲載の折りには、作品名などのキャプション情報と共に、クレジット表記として「所蔵先」を必ずご明記ください。
- 作品は必ず全図ご使用ください。改変・部分使用・文字のせ等はお断りしております。
- 確認のため、ゲラの段階で広報事務局まで原稿をメールかFAXにてご送信くださいますようお願いいたします。
- 作品の使用は、本展覧会の紹介用に限らせていただきます。本展覧会終了後の使用できませんので、ご了承ください。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙/誌を2部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。※ご申請により、招待券(10組20枚)をプレゼントいたします。

3. 問い合わせ窓口 ※東京会場のみ

「世界遺産 大シルクロード展」広報事務局/株ウインドム内 担当：白井、沼澤
TEL. 03-5642-3767 FAX. 03-3664-3833
E-mail: silkroad2023@windam.co.jp
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-11-2F